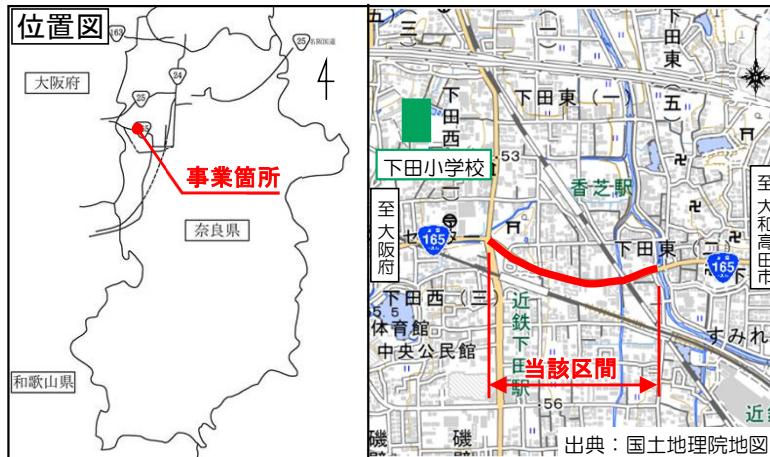


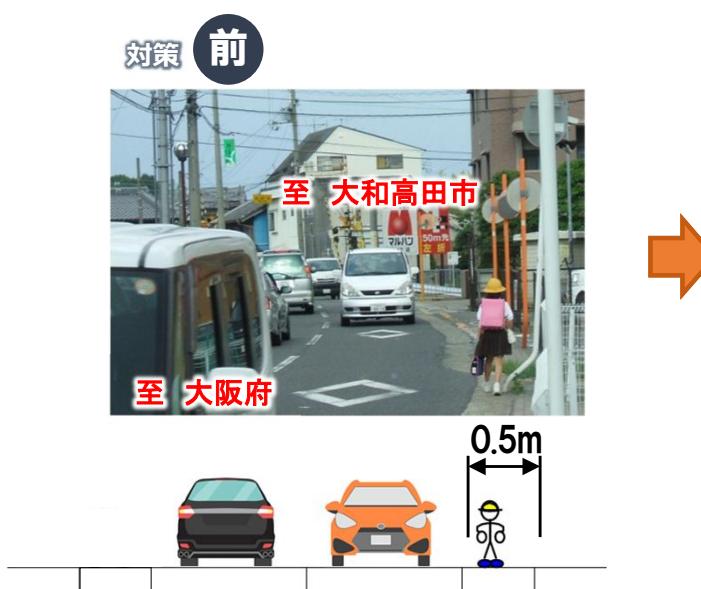
通学路の交通安全対策による効果 (奈良県香芝市 国道165号)

- 歩道がない通学路において、狭い路肩を児童が歩行し、車道にはみ出した歩行者を避けようと急ブレーキが発生するなど事故の危険性が高い区間が存在
 - 千葉県八街市の事故を受けた対策として、令和7年3月に歩道整備が完了し、整備区間において、自動車の急ブレーキが約2割減少するなど事故リスクの低減効果を確認

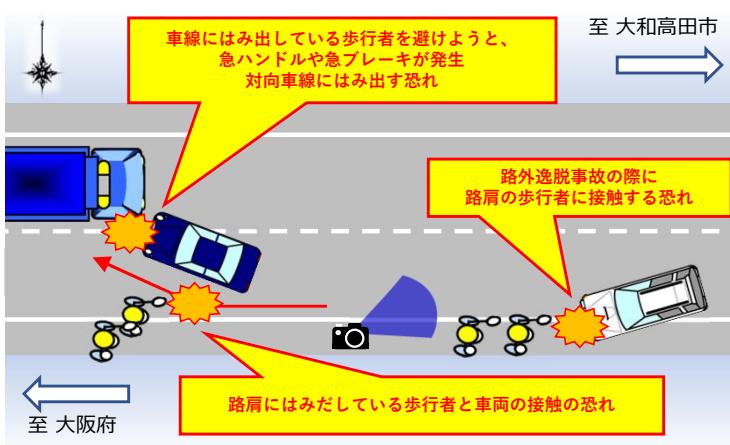
【位置図】



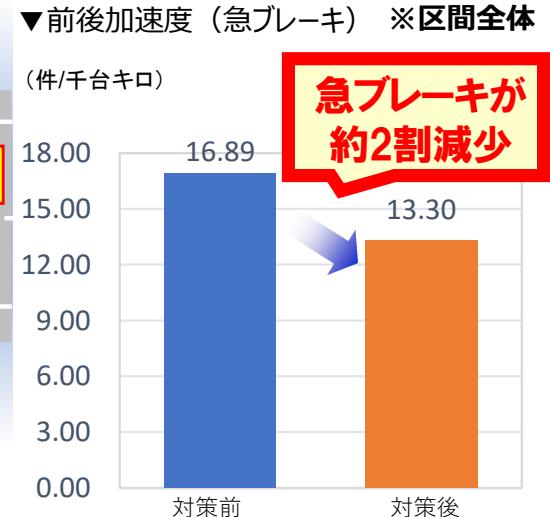
【対策前後の状況】



【対策前の課題】



（ETC2.0データによる効果検証）



対策 後 令和7年3月完成



▼左右加速度（急ハンドル）

変化なし (対策前: 0件 → 対策後: 0件)

※急挙動データ

- ・前後加速度:急ブレーキに係る指標(-0.3G以上)
 - ・左右加速度:急ハンドルに係る指標(±0.3G以上)

※ETC2.0プローブデータ抽出期間

【対策前】R3.5.1～R3.5.30 平日(7時～9時、14～18時)

【対策後】R7.5.1～R7.5.30 平日(7時～9時、14～18時)